

# 農作物鳥獣害防止総合対策プロジェクト



## 現状・課題

- イノシシ、シカ、サルなどの野生鳥獣による農作物被害が深刻
- 和歌山県内の被害金額は約2億5000万円
- 野生鳥獣による被害は、農業者の営農意欲の減退、耕作放棄の増加等、農業生産に大きな影響



## 取組

### 捕獲・防護・狩猟者の育成を3つの柱に、総合的な対策を推進

#### ● 捕獲による個体数の管理

- ・生息状況を調査しながら、農作物に被害を出す個体を中心に捕獲を推進します。
- ・ICT技術の導入など、新たな捕獲方法に取り組みます。

#### ● 防護柵の設置

- ・電気柵や金網柵など、野生鳥獣の農地への侵入を防止する柵の設置を推進します。

#### ● 狩猟者の確保・育成

- ・狩猟免許取得推進のための支援を行います。
- ・狩猟者の捕獲技術向上のための研修会を開催します。
- ・専門的な知識を有する人材を育成します。



## 寄附金の使途

捕獲活動費、防護柵設置費、狩猟者の確保・育成に係る経費等